



## “やればできる”、諦めず、挑戦し続ける

現在、コロナ禍において、学校の教育活動は、様々な場面において通常通りにいかななくなっています。さしあたって、先日開催しました「俺たちのスポーツフェスタ」においても、4月に検討していた内容が、新型コロナウイルス感染症の動向によって、二転三転してきました。

今年度は、臨時休業日が長引いたため、スポーツフェスタの役割分担に対して、前期・後期の切り替えに苦慮しました。そこで、前期生徒会長 加藤日那さん「日常活動を充実させることが 前期の役割である」「切磋琢磨」と、後期生徒会長 香田笑夢さん「前期を土台として、全校参加型の生徒会づくり」「互いに高め合える竹中生」の方針を融合させる形で「俺たちのスポーツフェスタ」の準備をしました。

通常通り、今まで通りにいかないことにストレスを感じたり、悩んだりしながらも、何とか開催できたことは、生徒会のメンバーや担当職員が検討と工夫を繰り返してきたこと、保護者の方のご理解と協力があったからだと思います。感謝の気持ちでいっぱいです。

新型コロナウイルス感染症対策が「with コロナ」の時代に入ってきました。今後も、行事や学校の教育活動を展開していくためには、『工夫』が大切になってくると考えます。「やればできる」の精神を大切にして、多く生徒や先生・地域の方の建設的な意見を吸い上げながらワクワクする学校活動を展開していきます。これからも挑戦し続ける竹鼻中学校に注目してください。



### 1. いいね! 温かさと爽やかさを感じる 竹中生

- ・ 約2週間前、メガネのヒロさんの所で、道に迷って困っている、愛知県ナンバーの車がいました。ご婦人が、道を聞こうと車から降りた瞬間、3年生男子が素早く寄って、道を教えていました。用事が済んで帰ろうとした時、「ありがとうございます」とお礼を言って、帰られました。
- ・ 先日、下校指導をしている若手の教員に対して、「先生、お疲れ様」とねぎらいの声をかける3年生の男子がいました。嬉しかったです。
- ・ 校内で何人かの生徒とすれ違いました。竹鼻中の生徒のあいさつは、自然で爽やかさを感じますね。羽島市内の学校で1番いいですね。(羽島市教育委員会 森嘉長教育長・山田健司課長)

温かさと、爽やかな生徒が多いのが竹鼻中学校のよさだと思います。「いつでも、何処でも、誰もが」できることを目指しましょう。

### 2. 11月7日(土) 土曜日授業 中止となりました。(理由:大会等で欠席者が多いため)

### 3. 制服のリサイクル 11月5日(木) 17:00~18:00 場所:会議室で行います。

※詳細は後日、PTAより配付されます。